

[036]九州大学大型計算機センターニュース : No.36

<https://doi.org/10.15017/1477840>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 36, pp.1-1, 1972-05-29. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



1972.5.29

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 36

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛 (TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

1. 処理プログラムのレベルアップについて 1
2. 延長運転とターンアラウンドタイムについて 1

1. 処理プログラムのレベルアップについて

センターニュースNo.35で6月1日より、処理プログラム (FORTRAN, ALGOL, LINED, BACCUS) のレベルアップを行なう旨、お知らせ致しましたが、その後の調査でFORTRANに問題があることが分かりましたので、今回の変更はALGOL, LINED, BACCUSの3つにとどめます。今後の変更につきましてはセンターニュースに注意してください。

2. 延長運転とターンアラウンドタイムについて

5月9日からのTSS一部運用開始にともない、TSS運用日には夜間21時までの延長運転を実施していますが、夜間操作する人の負担を軽減するために、夜間処理したジョブの出力は翌日の午前中に行なうようにしていますので、ジョブによつては、若い番号の方の出力が遅くなるということもあります。またTSS運用中は、バッチジョブの効率が落ちることになりますが、全体としての処理効率のアップということで御協力くださる様をお願いします。

なお、現在のところ処理能力には余裕もあり、依頼されたジョブは、その日の内に処理 (ただし出力は翌日になることもあります) する方向で延長運転の強化も考えていますので、X, A, Bジョブは勿論のこと、特にcpu時間の長いC, Dジョブは、この時期に依頼されるようおすすめします。

